

1日も早い災害廃棄物処理を目指します



フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤JV

親睦会を開催しました

7月28日(土)に、二次仮置場の場内において、作業員の親睦会を開催いたしました。親睦会には、作業に従事する作業員のほか、そのご家族の方にも参加していただき200名近く集まりました。焼肉や焼きそばが振舞われたほか、地元・山元町から焼き鳥やアイスクリームの販売車にも来て頂き盛大に盛り上がりしました。



山元JV
若林事務担当
課長よりひとこと



事務担当課長の若林です。1958年生まれの成年・血液型はB型です。171cm/85kg高校・大学とラグビー(ポジションはCTB)をやりました。今は走ったら、多分、壊れます。

家族のいる仙台の長町南から毎日、車で50分ほどかけて通勤しています。地元雇用を中心に地元の方々と触れ合う事が出来ました。現在も進行中です。そしてたくさんのお事を教えていただいています。一生の宝物です。

Q: 二次仮置場からの排水は処理しているのですか?

A: 二次仮置場に降った雨は、外周の排水側溝から南北2ヶ所に設けた濁水処理施設で凝集沈殿処理、pH処理した後、前川に放流しています。

凝集沈殿処理により、放射性セシウムは沈殿物に集められ、排水中には出てきません。

排出水の生活環境項目と有害物質は環境基準を満足しています。

処分量(8月20日現在)

	設計処理量(t)	累計処理量(t)	進捗率(%)	備考	
焼却量	80,000	26,134	33%	燃え殻:7,099t、ばいじん:488t	
搬入量	木くず	201,000	30,941	15%	
	混合ごみ	212,000	9,921	5%	
	コンクリートくず	85,000	55,452	65%	
	津波堆積物	598,600	68,522	11%	かさ比重は1.46t/m ³ とした
搬出量	コンクリート再生骨材	81,000	49,352	61%	
	津波堆積物処理土砂	598,600	64,367	11%	新浜の仮置場への搬出量

9月の業務予定

	第1週	第2週	第3週	第4週
【破砕選別工】				
災害廃棄物	運搬、破砕			
津波堆積物	運搬、選別			
焼却灰固化不溶化処理	固化・不溶化			
【搬出工】				
津波堆積土砂	新浜仮置場へ搬出			
コンクリートがら	新浜仮置場へ搬出			
【焼却工】				
キルン炉・ストーカ炉	焼却			
バイオマス発電設備	発電			

焼却灰の放射能濃度		
主灰	400Bq/kg	測定日
飛灰	2,240Bq/kg	8月6日
二次仮置場の空間線量(μSv/h)		
8月20日測定		
事務所前	0.038	
木くず	0.045	
コンクリートがら	0.048	
津波堆積物	0.368	
金属くず	0.017	
主灰保管テント内	0.121	
飛灰保管テント内	0.128	
※地上1mの高さ、廃棄物から1mのところ測定しています		

お問い合わせは
0223-37-7451
まで

発行: 災害廃棄物処理業務(巨理名取ブロック(山元処理区))
フジタ・東亜・青木あすなろ・大豊・本間・河北・佐藤 特定業務共同企業体
〒989-2202 宮城県巨理郡山元町高瀬宇浜砂1-4
電話:0223-37-7451